

# Chassis Managerからの論理デバイスパスワードの回復

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

[コンフィギュレーション](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Secure Firewall Chassis Manager(FCM)から論理デバイスのパスワードを回復する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Secure Firewall eXtensible Operating System(FXOS)
- Cisco適応型セキュアアプライアンス(ASA)
- セキュアファイアウォール脅威対策(FTD)

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ファイアウォール4100/9300デバイスを保護します。
- 論理デバイス ( ASAまたはFTD ) はすでに作成され、オンライン状態です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

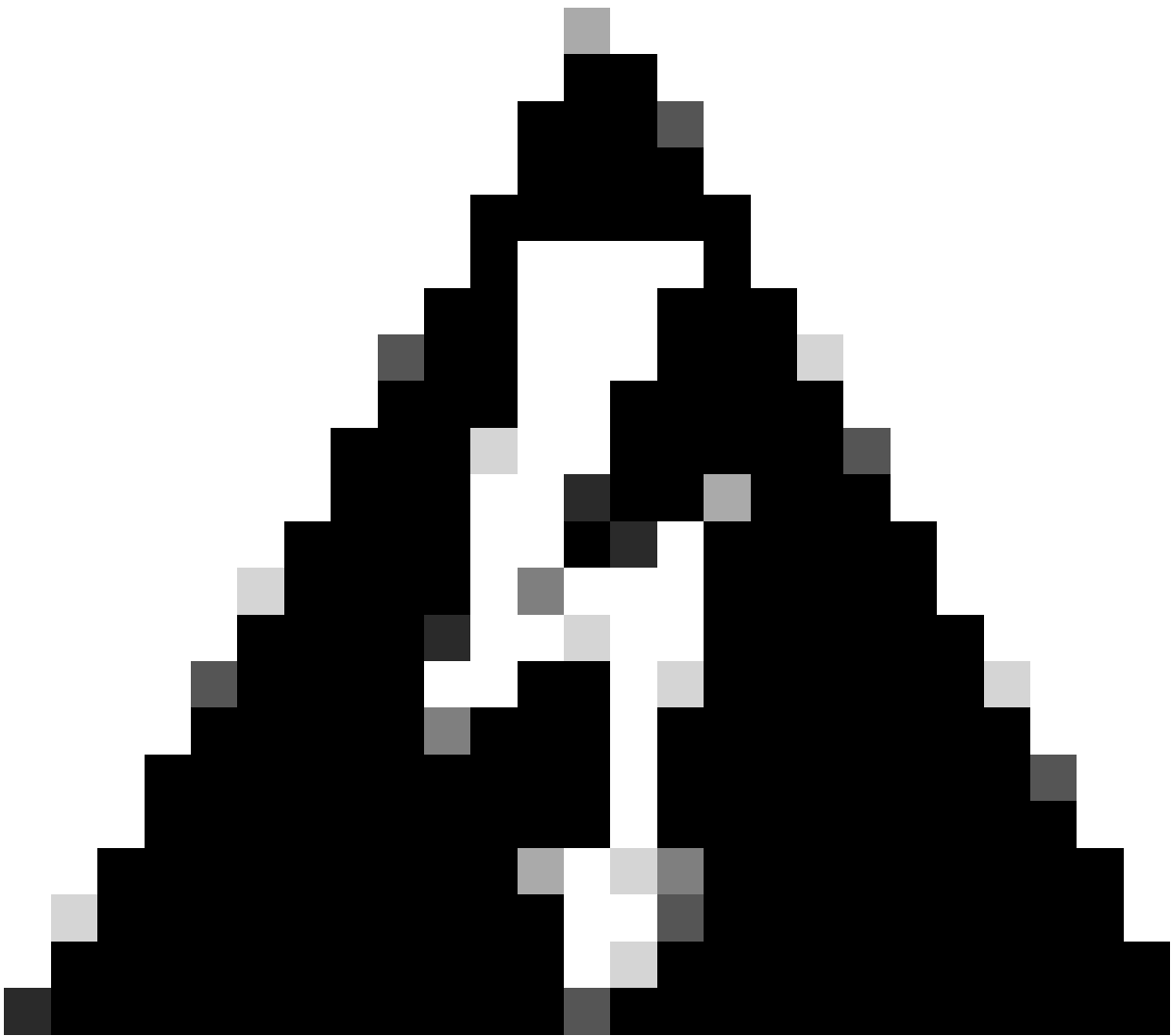
## 背景説明

論理デバイスのパスワードは作成時に設定されます。これは、CLIからブートストラップ設定が展開された後でも変更できます。

## 手順

この手順では、論理デバイスの作成後にChassis ManagerのGUIからパスワードを変更する方法について説明します。これは、ASAおよびFTD論理デバイスに適用されます。

---



**警告：**パスワードを回復する手順を実行すると、FCMからブートストラップ設定が上書きされます。つまり、デバイスの作成後に論理デバイスのCLIから実行された管理IPの変更もすべてリストアされます。

---

## コンフィギュレーション

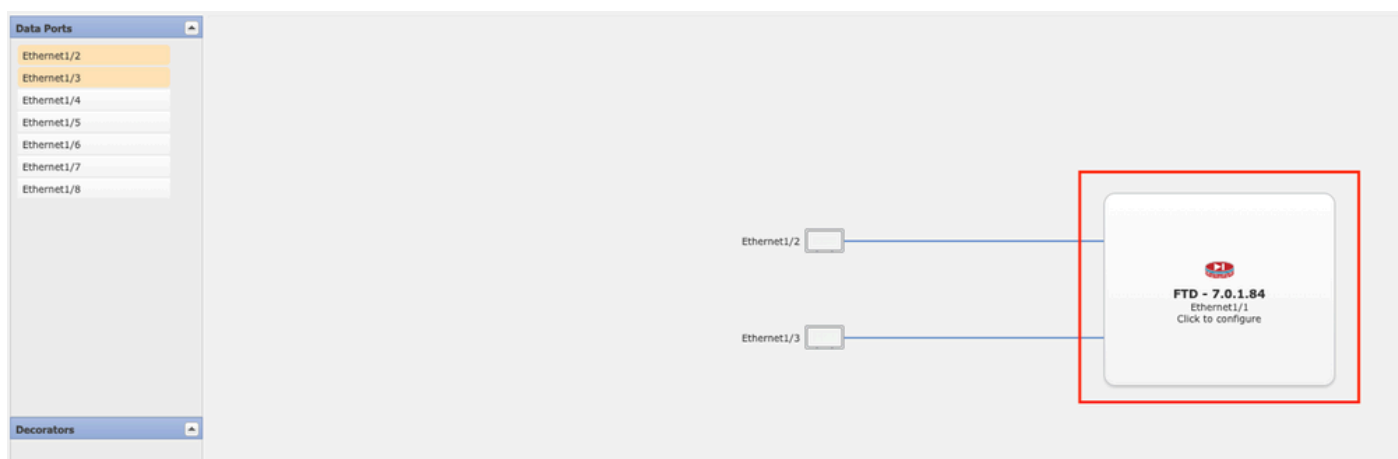
1. Secure Firewall Chassis Managerにログインします。

2. 論理デバイスのパスワードを変更するには、Logical Device > Editに移動します。



論理デバイスメニュー

3. デバイスポタンをクリックして、ブートストラップ構成を入力します。



ブートストラップ設定

4. Settingsをクリックします。Passwordがすでに設定されていることを確認します。新しいパスワードを入力して確認します。

この操作によってパスワードが変更されますが、変更を行うには再起動が必要です。

# Cisco Firepower Threat Defense - Bootstrap Configuration



General Information Settings Agreement

Management type of application instance:	<input type="text" value="FMC"/>	
Search domains:	<input type="text"/>	
Firewall Mode:	<input type="text" value="Routed"/>	
DNS Servers:	<input type="text"/>	
Fully Qualified Hostname:	<input type="text"/>	
Password:	<input type="password"/>	Set: Yes
Confirm Password:	<input type="password"/>	
Registration Key:	<input type="text"/>	Set: Yes
Confirm Registration Key:	<input type="text"/>	
Firepower Management Center IP:	<input type="text" value="10.88.243.23"/>	
Firepower Management Center NAT ID:	<input type="text"/>	
Eventing Interface:	<input type="text"/>	

OK Cancel

[Password] フィールド

5. 変更を保存すると、確認メッセージが表示されます。Logical Devices > Restartで、デバイスを今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択できます。

## Bootstrap Settings Update Confirmation



Updating the bootstrap settings from the Firepower Chassis Manager is for disaster recovery only; we recommend that you instead change bootstrap settings in the application. To update the bootstrap settings from the Firepower Chassis Manager, click **Restart Now**: the old bootstrap configuration will be overwritten, and the application will restart. Or click **Restart Later** so you can manually restart the application at a time of your choosing and apply the new bootstrap settings (**Logical Devices > Restart**).

**Note:** For FTD, if you change the management IP address, be sure to change the device IP address in **FMC (Devices > Device Management > Device tab > Management area)**. This task is not required if you specified the NAT ID instead of the device IP address in FMC.

Restart Now

Restart Later

Cancel

変更の保存の警告

6. 論理デバイスが復旧したら、デバイスにSSH接続し、新しいクレデンシャルを使用してエキスパートモードにアクセスできます。

## 関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。